

# 北アルプス森林林業基本計画 大町市 実務・手引編

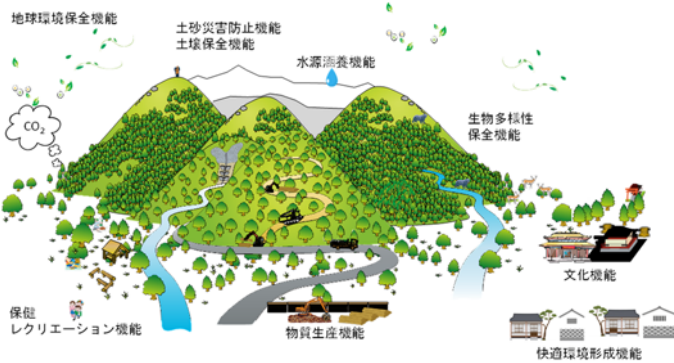
北アルプス圏域 5 市町村では、森林の経営管理や活用を通じて、地域の豊かな暮らしに寄与するために「北アルプス森林林業基本計画（以下「基本計画」という。）」を策定しました。この計画は、森林が地域の財産であることを認識し、中長期的な視点で森林の役割を活かしていくことを目指しています。

この基本計画のうち「大町市 実務・手引編」は、市の特徴、独自性、自立性を考慮した担当者のマニュアル（教本）を主目的に作成しました。



図1 北アルプス森林林業基本計画「圏域編」と「実務・手引編」の位置付け  
※資料：北アルプス森林林業基本計画 大町市 実務・手引編

## ◆基本計画の目指す姿（目標）-1 森林の多面的機能の高度発揮



## ◆基本計画の目指す姿（目標）-2 森林・林業・木材産業の発展

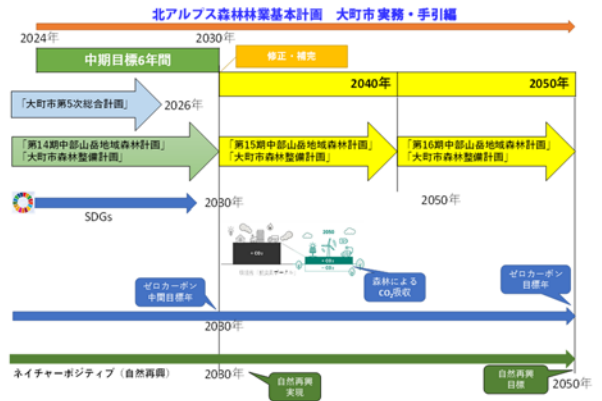


## ◆基本計画の目指す姿（目標）-3 地域の豊かな暮らしを目指して



## ◆計画期間

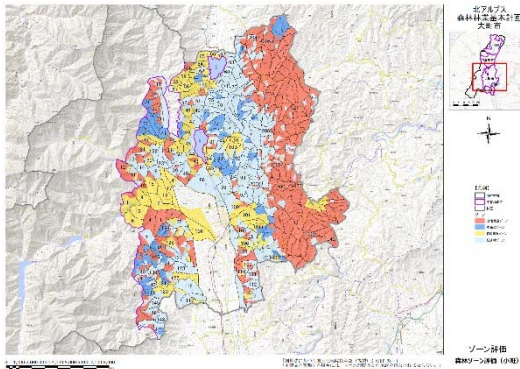
「基本計画」の計画期間は次の事項を考慮して、2024年～2050年としました。中期目標は2030年としました。



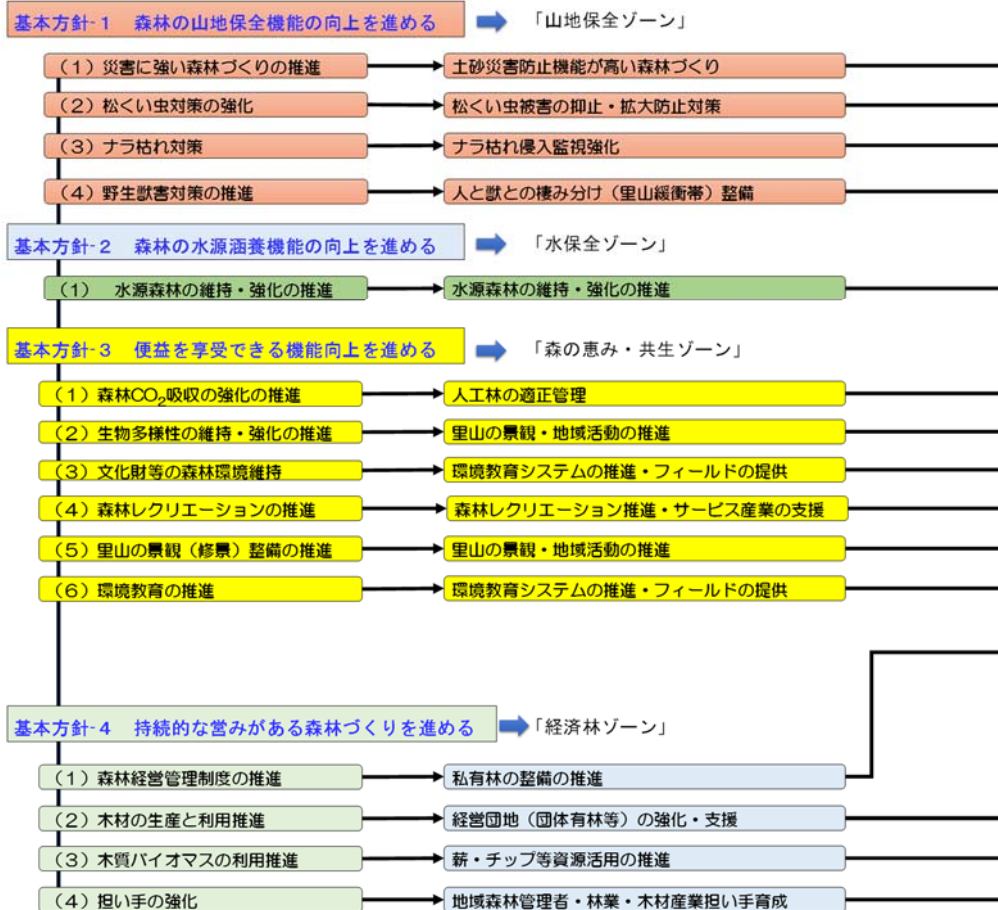
## ◆基本方針と実施方針

ゾーニング図を作成して、4つの基本方針を定め、取り組むべき項目として中期目標である2030年までの実施方針を示しました。

- ◆ 基本方針-1「災害に強い森林づくりの推進」、「松くい虫・ナラ枯れ対策の強化」、「野生獣害対策の推進」
  - ◆ 基本方針-2「水源林の維持・強化の推進」
  - ◆ 基本方針-3「森林CO<sub>2</sub>吸収の強化の推進」
  - ◆ 基本方針-4「森林経営管理制度の推進」
- を中期重点対策としました。



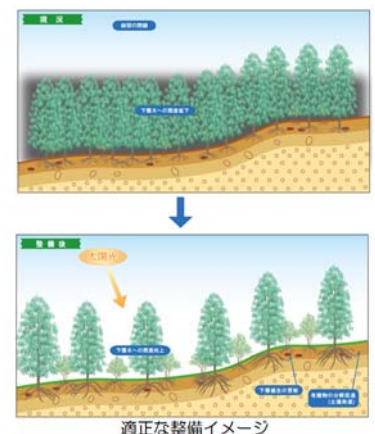
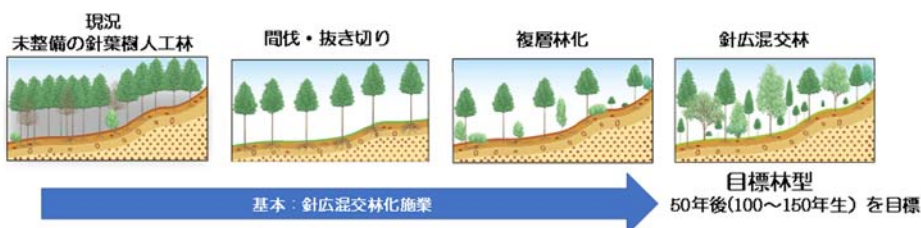
ゾーニング図



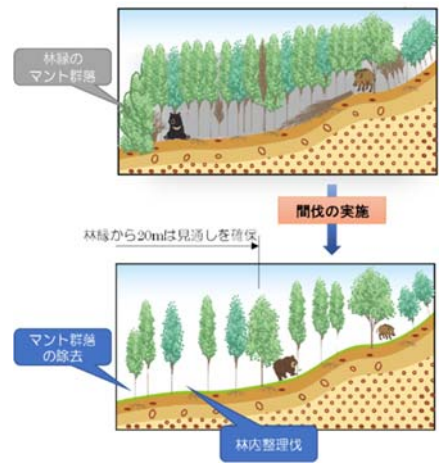
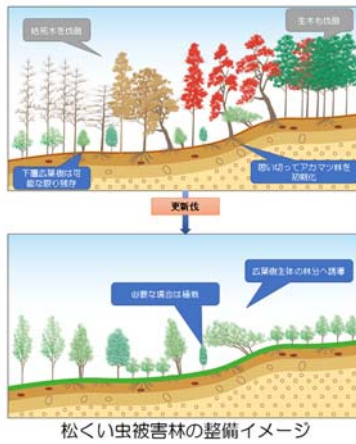
## ★ 実施方針-1 森林の山地保全機能の向上を進める整備

次の3項目を中期目標の優先度が高いと位置付けて整備を推進します。

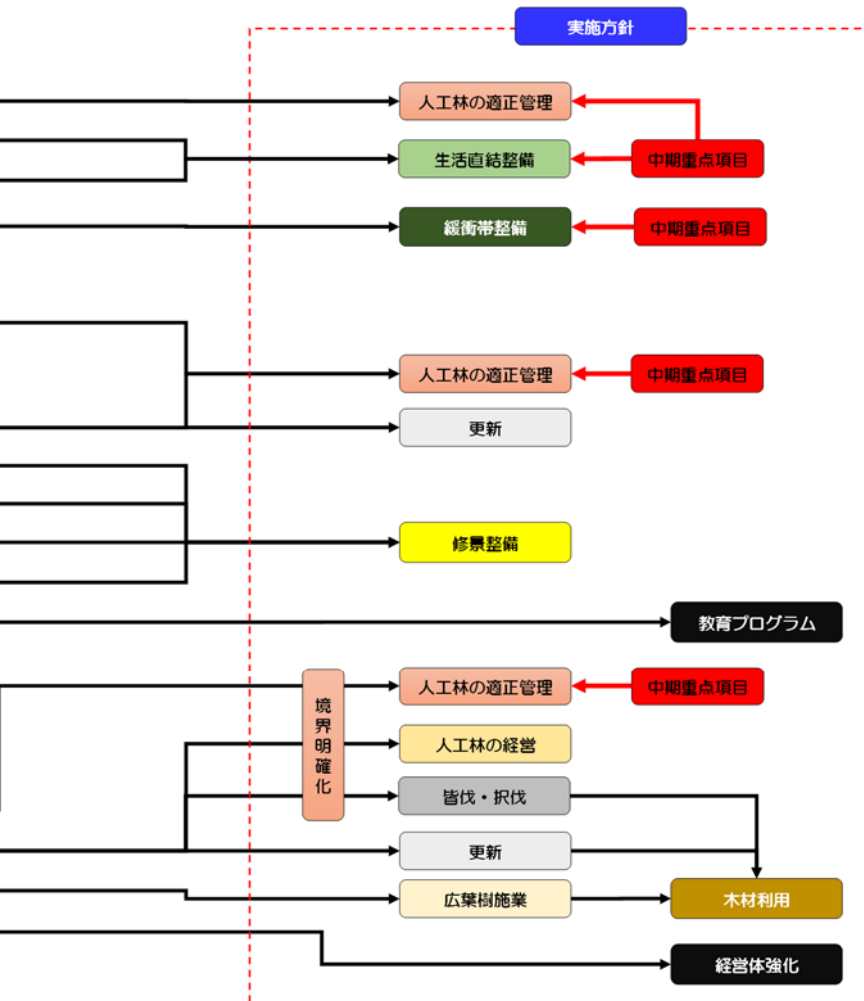
- 🌲 「土砂災害防止機能が高い森林づくり」：土砂災害防止機能向上のために森林整備（針広混交林誘導等）を推進します。



● **松くい虫被害の抑止・拡大防止対策**：  
松くい虫やナラ枯れ被害森林及びその隣接森林における森林整備や住民生活に直結する場所（生活道路・住宅後背森林等）の整備を行います。



● 「人と獣との棲み分け整備」：緩衝帯整備を実施します。猟友会との綿密な連携によって有害獣の個体調整（捕獲）を行います。



★ **実施方針-2 水源涵養機能の向上を進める整備**

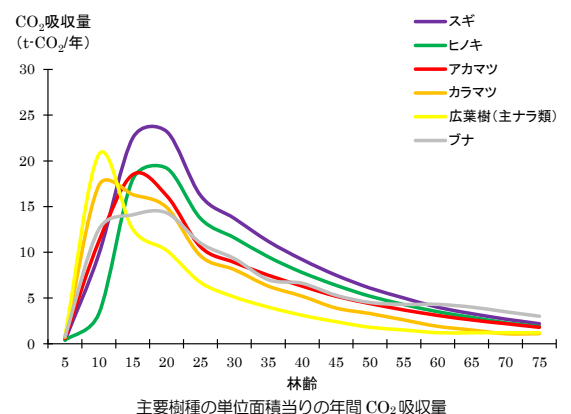
次の項目を中期目標の優先度が高いと位置付けて整備を推進します。

● 「水源林の整備」：水保全機能向上のための整備を計画的に実施します。他の整備（山地保全等）、松くい虫・ナラ枯れ対策や緩衝帯整備との関係を精査し、市民生活に直結する緊急箇所を優先します。

★ **実施方針-3 便益を享受できる機能向上を進める整備**

次の項目を中期目標の優先度が高いと位置付けて整備を推進します。

● 「CO<sub>2</sub>吸収のための森林整備」：森林によるCO<sub>2</sub>吸収量を高めるためには、次の2点が重要です。



- ◇ 間伐が可能な人工林は積極的に間伐を実施します。
- ◇ 高齢林になると吸収量は激減するため、林業活動が可能な森林では、積極的に更新を行います。

## ★ 実施方針-4

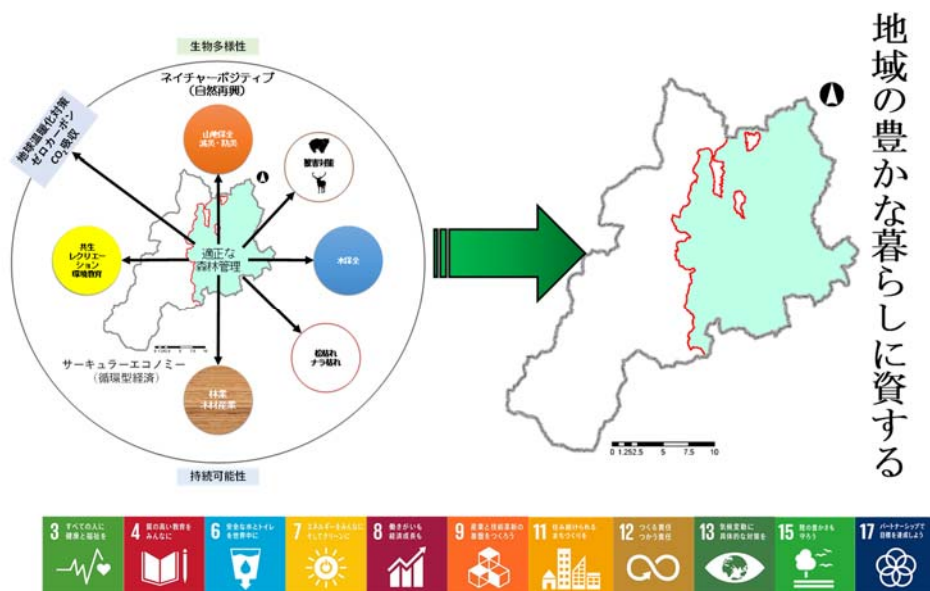
### 持続的な営みがある森林づくりを進める整備

次の項目を中期目標の優先度が高いと位置付けて整備を推進します。

- 🌳 「森林経営管理制度対象森林の特定（集積計画）」：森林経営管理制度に基づき、林業生産を行うべき地域を対象に意向調査を進め、「経営管理権集積計画（集積計画）」を設定します。意向調査の結果、林業事業者による管理を希望する地域においては、林業事業者と調整し「経営管理実施権」の設定を行います。
- 🌳 「集積計画地の森林整備」：「経営管理実施権」を設定する森林については、林業事業者等民間事業者による整備を支援します。「経営管理実施権」を設定できない森林については、必要に応じて森林経営管理法第33条による市町村森林経営管理事業の導入を検討します。

## ◆ 推進

- 市は、「大町市実務・手引編」として、中期目標年 2030 年までの実行計画は着実に実施（Do）し、毎年検証（Check）を行う。改善（Action）が必要な事項は「素早く・機敏に（Agile）」修正・補完する「PDCA サイクル（plan-do-check-act cycle）」を行います。
- 森林を守ることは、生物多様性の保全につながると同時に、CO<sub>2</sub> の吸収源を守り、地球温暖化対策にもなるという相乗効果が生まれます。森林を適正（健全）に管理すると、一つの目的ではなく「山地保全（減災・防災）」・「森の恵み（水や CO<sub>2</sub> 吸収）」・「レクリエーションや環境教育」・「林業や木材産業」などに波及し、結果的に持続可能性が担保され「ゼロカーボン」、「生物多様性」、「ネイチャーポジティブ」、そして「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」につながっていきます。一つの活動がさまざまな利益につながっていく「相乗便益（コベネフィット：co-benefits）」という概念が、森林管理には適合します。
- 森林があることで、森林だけでなく市民の暮らしが豊かになります。地域住民の豊かさに資するために推進していきます。



## 北アルプス森林林業活性化協議会（北アルプス連携自立圏による取組）

大町市 産業観光部 農林水産課 森林振興係  
 〒398-8601 長野県大町市大町 3887 番地  
 電話：0261-22-0420（内線 664・665）  
 Fax：0261-23-5188  
 E-mail:nourin@city.omachi.nagano.jp



大町市キャラクター  
おまびよん(R)  
(商標登録第 555-6035 号)